



従業員体験 (EX) を刷新する：

インテリジェントなコラボレーションソリューションで従業員のエンゲージメントと生産性を高める

フロスト&サリバン・ビジュアルホワイトペーパー

すべてのページの内容は、著作権で保護されています。Copyright © Frost & Sullivan. All rights reserved. (不許複製)

[frost.com](https://www.frost.com)

logicool®



目次

3 従業員体験の重要性

4 EXの変革におけるテクノロジーの
役割：従業員の期待に応える
コラボレーションソリューション

6 使いやすさがかつてなく重要に

7 課題を克服する

8 テクノロジーファーストから
ピープルファーストへの移行

9 シンプルでインテリジェントな
コラボレーションで変革をもたらす

10 AIによる効率とパフォーマンスの向上

11 あらゆるワークスペースに対応する
エンドツーエンドのソリューション

12 ソリューションの紹介：ロジカールの
ビジネスソリューション

15 今すぐ始めるべきこと – シンプルさに焦点
を当て、従業員とITエクスペリエンスを向上
させる





従業員体験の重要性

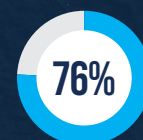
ここ数年間にわたる職場の急激な環境変化により、より充実した一貫性のある従業員体験を求める意識が高まっています。より良い従業員体験（EX）を提供することは、あらゆる組織の成功にとって極めて重要です。

従業員は信頼関係、仲間意識、目的意識を切望しています。彼らは、職場でどんなものが得られるのか、事前に一定の期待をしています。職場は、単に仕事をこなす場所ではなく、有意義なつながりや経験を生み出す拠点なのです。今日、EXは、どこで働くかにかかわらず、仕事を成功させる上で不可欠です。実際、**EXは従業員ライフサイクルにおける業務プロセス以上のものであり、戦略的なビジネス上の優先事項です**。ビジネスリーダーはこの機会を利用して、従業員のエンゲージメントや士気を高め、組織全体のパフォーマンスを向上させる環境を作り出す必要があります。

現在、IT管理者には、職場の改革とEXの監督も任されています。従業員が働きたいと思える職場に変えるためには、より良いチームコラボレーションを実現する必要があります。このため、先進的なコラボレーションテクノロジーの広範な導入ことは、ビジネスの変革にとって極めて重要だと言えるのです。



全従業員が現在のワークモデルに満足していると回答した組織の割合



ハイブリッドワークの結果として従業員のエンゲージメントが低下していると回答した組織の割合

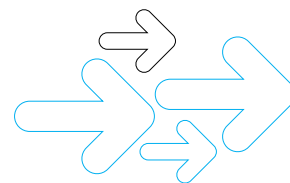


優秀な人材を確保し、定着させることがビジネスの最優先課題であると回答したビジネスリーダーの割合

出典：フロスト&サリバン「IT部門の意思決定者を対象としたコミュニケーションとコラボレーションに関する年次調査」、2024年4月

66

顧客第一主義は、常に重要な理念であり続けてきた一方で、従業員体験は、戦略的な事業目標として最重要視されるようになりました。先見の明のあるビジネスリーダーは、CX（顧客エクスペリエンス）と同じほどEXを優先しています。





EXの変革におけるテクノロジーの役割：

従業員の期待に応えるコラボレーションソリューション

オフィスへの回帰や、現代的なワークプレイスの構築という課題に取り組む中で、企業は明らかに、従業員が調和のとれたワークライフバランスを達成し、仕事で成功を収めるための適切な物理的およびデジタル環境を提供する必要があります。これは、現在のハイブリッドワーク環境において特に当てはまります。

デジタルトランスフォーメーションを促進するため、多くの企業が、あらゆるワークスペースに最新のコラボレーションデバイスやソフトウェアを導入するなど、ワークスペースを全面的に刷新するための投資をおこなっています。効果的なデジタルコラボレーションにより、従業員はシームレスにつながることができます。しかし、単にテクノロジーに投資するだけでは十分ではありません。**コラボレーションソリューションが過度に複雑だったり、提供される音声や動画が低品質であったり、組織のワークモデル、ワークスペース、ワークスタイルにそぐわない場合、従業員のエンゲージメントと生産性は低下します。**このような背景から、ハイブリッドワークへの移行に対処するための新しいクラスのインテリジェントデバイスが登場しました。ソフトウェアを搭載したこれらのインテリジェントコラボレーションデバイスには、AI駆動の優れた機能とエンタープライズグレードの管理性・セキュリティを備え、使いやすさを追求した設計と最適化が施されています。

IT部門の意思決定者が、コミュニケーションおよびコラボレーション・ソリューションへの投資が重要であると考え理由とそれぞれの割合：

94%

チームのコラボレーション強化

93%

従業員のエンゲージメントと満足度の向上

93%

優秀な人材の確保と定着

93%

生産性の高いリモートワーク、ハイブリッドワーク、オフィスワークの実現

出典：フロスト & サリバン「IT部門の意思決定者を対象としたコミュニケーションとコラボレーションに関する年次調査」、2024年4月



今日、IT 部門は組織全体のテクノロジーの変革のペースを加速させる必要に迫られています。従業員のニーズの変化に対応した適切なコラボレーションソリューションの選定、迅速かつスムーズなテクノロジーの導入、ユーザー全体への展開など、すべてのプロセスをIT部門が主導して行う必要があります。さらに、あらゆるコミュニケーション用のデバイスやプラットフォームで容易に管理できるようにし、在宅勤務でもオフィス勤務でも一貫したユーザーエクスペリエンスを提供する必要があります。このため、使いやすさと管理のしやすさを優先しつつ、個人とチームのワークスペースのあらゆるニーズを満たす多様なコラボレーションソリューションのポートフォリオは、従業員とITエクスペリエンスの向上にとって不可欠です。

82%のビジネスリーダーおよびIT部門の意思決定者は、コミュニケーションおよびコラボレーションテクノロジーを購入する際、**使いやすさ**を重要視しています。

81%が、**優れた管理性**がコミュニケーションおよびコラボレーションテクノロジーの選択にとって重要であると回答しています。

使いやすいテクノロジーで、問題点やユーザーのフラストレーションを減らし、管理しやすく**拡張性の高いITソリューション**を開発することは、現代のワークプレイスと従業員のニーズを満たす上で不可欠です。



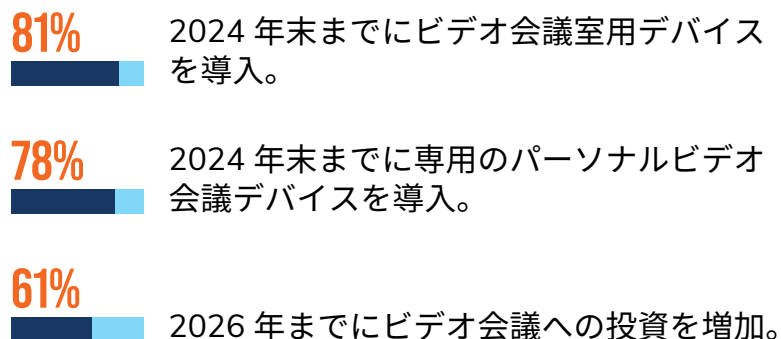


使いやすさがかつてなく重要に

分散型チームとハイブリッドワークが当たり前になりつつある今、より良いコラボレーションはあらゆるワークプレイスの成功に不可欠です。特に、積極的に参加できる誰も取り残されないビデオ会議は、今日の仕事の中心的な存在となっています。

最新のビデオデバイスは、ハードウェアとソフトウェアが緊密に連携し、使いやすさ、高い柔軟性、管理しやすさを提供し、より良いコラボレーション環境を実現します。これらは、従業員間のつながりを強め、エンゲージメントを高め、インクルージョンを促進する上で不可欠なものです。

あらゆる規模の組織が、ビデオ会議への投資を拡大しています。



効果的なハイブリッドワークの優先事項：

- ▶ コラボレーションスペースでのシンプルで一貫したユーザーエクスペリエンス
- ▶ デバイスとコラボレーションプラットフォーム間のシームレスな連携
- ▶ 誰も取り残されないハイブリッド会議を実現するAI駆動の優れたオーディオおよびビデオ機能
- ▶ 導入が容易でリモート管理機能を備えたソリューション
- ▶ モバイル、デスク、会議室の映像を簡単に切り替え可能

従業員がハイブリッドワークで、在宅勤務とオフィス勤務を使い分けるようになるにつれて、各自の職務や特定の職場環境に適応した、使いやすいコミュニケーションデバイスが必要になります。

リモートワーク環境では、臨場感あふれるオーディオ・ビデオ体験を提供する高品質のウェブカメラやヘッドセットなど、それぞれの必要に応じたテクノロジーが必要です。一方、オフィスの新しい利用パターンが進化するにつれ、企業はハイブリッドチーム間のより良いつながりやコラボレーションを促進するために、会議室やコラボレーションスペースを増設しています。これらのスペースには、組織全体に拡張可能なテクノロジーで、多様な従業員のニーズに対応するというIT部門のニーズに適合した、使いやすいエンタープライズグレードの一元管理可能なビデオ会議デバイスが必要です。



課題を克服する

先進技術による変革で EX を推進するIT部門の役割は明確です。しかし、現代のワークプレイスにおけるIT部門が担う職責は、ここ数年で大きく変化しています。組織全体に新たなテクノロジーが急速に普及してきているため、IT管理者はより多くの仕事を任されるようになるだけでなく、スタッフの技術能力を向上させてテクノロジーの進歩に遅れを取らないようにする責任も負っています。こうしたことが生じている一方、IT部門の人員数は変わっていないか、かえって減少しています。

ビデオコラボレーションテクノロジーの導入や管理する際、IT部門は以下の課題に直面します。

- ▶ 在宅勤務、オフィス勤務、外出先勤務の従業員のエンゲージメントとエクスペリエンスの質の維持
- ▶ 標準化された安全な方法で、環境や好みの異なる従業員への適切なテクノロジーの選択肢の提供
- ▶ リモートデスクトップやオフィススペースにある数百、数千のオーディオ・ビデオ会議用機器のプロビジョニングおよびモニタリング
- ▶ 不動産の最適化／オフィスの再設計の検討、ROIの評価、将来の投資計画のために、テクノロジーの使用状況とパフォーマンスの正確な追跡
- ▶ 多様化するコミュニケーションツールやコラボレーションプラットフォームの管理
- ▶ テクノロジーの進歩への対応（特にAIテクノロジー）

IT部門が直面する主な課題：

64%

ITスキルの不足、トレーニング/
スキルアップの必要性

64%

既存ソリューションの拡張性や
柔軟性の欠如

60%

従業員一人ひとりに合わせた
技術要件への対応

50%

リモートワーク/ハイブリッド
ワークのサポート

出典：フロスト&サリバン「IT部門の意思決定者を対象としたコミュニケーションとコラボレーションに関する年次調査」、2024年4月



テクノロジーファーストからピープルファーストへの移行

企業は、テクノロジーファーストからピープルファーストのアプローチに移行する必要があります。そのため、IT管理者は、ユーザーが現在直面しているさまざまな課題に対処するために、単体の製品からソリューション中心のビデオコラボレーションに優先順位をシフトしています。

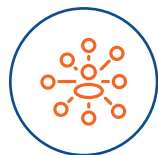
ソリューション中心のアプローチは、テクノロジーとエクスペリエンスのギャップを本当の意味で埋めるものです。これにより、ワークプレイスにおける徹底的なテクノロジーの変革が実現し、統一された一貫性のあるユーザーエクスペリエンスが保証されます。



企業は、変化を受け入れ、ハイブリッドワークモデルと不動産計画を固めるにあたり、自社の課題を明確にする必要があります。



投資から最大の価値を引き出すには、組織全体のステークホルダーが共通のビジョンと優先順位付けされた目標を共有する必要があります。



IT管理者は、テクノロジーから「成果」へと、考え方の転換を加速させる必要があります。

ワークプレイスを刷新し、EXを強化するための戦略：

50%

オフィスでの勤務を奨励するために、より大きな特典を提供している。

46%

最新のコラボレーションソリューションなど、より多くのテクノロジーを追加して、オフィスを刷新している。

40%

会議スペースを増設している。

37%

物理的なコワーキングスペースを使用している。

33%

個人ごとに割り当てられたデスクをホットデスクに置き換えている。

32%

オフィスの所在地を分散している。

出典：フロスト＆サリバン「IT部門の意思決定者を対象としたコミュニケーションとコラボレーションに関する年次調査」、2024年4月



シンプルでインテリジェントなコラボレーションで変革をもたらす



今日、テクノロジーファーストの変革で企業が直面している多くの課題は、ユーザーと管理者のエクスペリエンスをシンプルにすることで克服できます。

ユーザーが望むこと



IT サポートに過度に依存することなくテクノロジーを利用できる、直感的に使える使いやすいエクスペリエンス



選択したコラボレーションプラットフォーム (Microsoft Teams、Zoom、Google など)の柔軟な活用



- AI を活用した豊富な機能と自然なコラボレーション
- ・ 話者追跡機能、スマートフレーミング、ノイズキャンセル、スマート照明
 - ・ インテリジェントなマルチカメラ切り替え機能による公平な会議



リモート、オフィスデスク、会議室など、どこからでも一貫したエクスペリエンスが得られること



誰もが平等な立場で参加できる、積極的に参加できる誰も取り残されない会議体験

IT管理者が望むこと



導入、拡張、管理が容易なソリューション



ユーザートレーニングとヘルプデスクチケットの削減



すべてのコラボレーションデバイスの一元管理



主要なコラボレーションプラットフォームでのデバイス認定による、信頼性と高いパフォーマンスの確保



実績のある、信頼性の高い技術サポートと保証プログラム



AIによる効率とパフォーマンスの向上

44%

仕事の質の向上

40%

セキュリティとコンプライアンスの向上

37%

人件費の削減

43%

ナレッジマネジメントの効率化

39%

イノベーションの拡大

36%

人的ミスの削減

42%

カスタマーエクスペリエンス (CX) の向上

37%

時間の大幅な節約

33%

チームメイトとのより緊密なつながり

77% のビジネスリーダーおよびIT部門の意思決定者が、AIを活用した機能やサービスは、コラボレーションへの投資において重要、非常に重要、または不可欠であると回答しています。

出典：フロスト&サリバン「IT部門の意思決定者を対象としたコミュニケーションとコラボレーションに関する年次調査」、2024年4月





あらゆるワークスペースに対応するエンドツーエンドのソリューション

コラボレーションテクノロジーを使用する場合、ユーザーはリモートでも、外出先でも、オフィスでも、一貫性のある統一されたエクスペリエンスを求めています。さまざまな利用の方法や形態をサポートし、クロスプラットフォームでのエクスペリエンスを柔軟にユーザーに提供するソリューションは、組織全体の繋がりを容易にするのに役立ちます。

一方、IT部門には、セキュリティとプライバシーを確保しつつ、あらゆるタイプのワークスペースで管理者エクスペリエンスを標準化できるという利点があります。

会議スペース (ハドルスペース、 小・中・大会議室)	従業員個人のデスク (専用および共有のワーク ステーション)	リモートワーク (自宅、ホテル、通勤)
▶ USB会議用カメラ ▶ アプライアンスベースのコラボレーションバー ▶ マルチカメラシステム ▶ オーディオマイクと拡張機能 ▶ 会議コントローラーとスケジューラー	▶ 業務用ヘッドセット ▶ 業務用ウェブカメラ ▶ デスクハブ/ドッキングステーション ▶ デスク予約システム	▶ 業務用ヘッドセット ▶ 業務用ウェブカメラ ▶ 高品質のスピーカーとマイク ▶ モバイルアクセサリー
クラウドベースの監視・管理ユーティリティ		

現代の企業は、チームワーク、イノベーション、生産性を促進する新しいダイナミックなワークスペースを設計しています。



ホットデスク



開放的なコラボレーションスペース



ジャンプスペースとミーティングポッド



シンクスペース/
静かな部屋



ワークカフェ



フォンブース



ハドルルーム



会議室



ソリューションの 紹介：ロジクール のビジネスソリュー ション

業界をリードするデザインと直感的に使える使いやすいユーザーエクスペリエンスで知られるロジクールは、会議室用デバイスとパーソナルコラボレーションデバイスの包括的なラインアップを提供しています。これには、コラボレーション用のオープンスペースやフロンブースなどの新しい形のスペースを含む、あらゆる規模の会議室向けのビデオ会議ソリューションや、共有・専用デスク向けのデスクトップソリューションが含まれます。

ロジクールは、直感的に使えるハードウェア設計、リモート管理ツール、および柔軟なオプションを、独自のソフトウェア中心のアプローチと融合させ、ユーザーエクスペリエンスと管理エクスペリエンスの継続的な最適化を可能にします。同社のソリューションは、さまざまなユースケース、ユーザーの好み、作業環境に対応できる柔軟性を備えているため、IT部門はコラボレーション機能を、容易に組織全体へと拡張することができます。さらに、Microsoft Teams、Zoom、Google Meetの認定により、企業は互換性を確保しつつ、希望に沿ったビデオ会議プラットフォームを使用できます。

ロジクールのチームおよびパーソナルワークスペースソリューションは、AIとアダプティブ技術を活用して、シームレスで魅力的かつ自然なコラボレーションエクスペリエンスを実現します。



RightSight 2 は、参加者1人1人を検出し、発言者を識別し、参加者を動的にフレーミングするように設計されたロジクールのAI駆動の一連のアルゴリズムで、会議への参加意欲と生産性を向上させるように設計されています。



RightSound 2 は、一連のAI駆動のアルゴリズムと音声処理で、雑音を抑え、エコーを減らし、音量を均等化して、会議室内でのディスカッションをクリアで明瞭なものにします。



RightLight はウェブカメラの照明を自動的に調整し、低照度や逆光の条件下でも、ユーザーがはっきりと見え、自然な表現を可能にします。



ロジクール ビジネスソリューションの紹介： チームワークスペース

ロジクールのチームワークスペースソリューション：

Rallyファミリーの一体型ビデオバーおよび会議用カメラは、AIテクノロジーと複数の導入モードを備え、ハドルルーム、小、中、大会議室で利用可能です。

- ▶ **TapおよびTap IP** を使用するとワンタッチで会議に参加することができ、対角10.1インチディスプレイで会議室システムと会議設定をタッチ操作が可能
- ▶ **さまざまなアクセサリ**で、拡張マイク、BYOD接続、ケーブル管理、およびデバイスの取り付けに対応



MeetUp 2 AI搭載USB会議用カメラで、小規模なスペースにも対応。会議室用PCを接続して使用、またはアクセサリーのアクティブUSBケーブルを使用してBYODモードで使用可能

Sight インテリジェントな多人数対応の自動フレーミング機能を備えたAI搭載の卓上型コンパニオンカメラ。大規模な会議室や奥行きのある会議室でも会議室前方および会議テーブル中央からの最適な視点を提供

RoomMate Microsoft Teams (Android版)、Zoom Rooms (アプライアンス版) などの主要なプラットフォームを実行可能なロジクール CollabOSを搭載したコンピュータ内蔵アプライアンス

ソフトウェアとサービス： Syncリモート管理プラットフォームでデバイスとスペースをの管理およびプロビジョニングが行え、プレミアムサービスでインサイトとプロアクティブなアラートをご利用いただけます。ロジクール Selectで高度なテクニカルサポートと製品交換をご利用いただけます。



ロジクールビジネスソリューションの 紹介：パーソナルワークスペース

ロジクールのパーソナルワークスペース向けのオーディオ・ビデオ機器およびソフトウェアの包括的なポートフォリオには、以下のようなものがあります。

Zoneワイヤレスおよび有線ヘッドセット：USBおよびBluetooth®接続、ステレオオーディオ、デュアルノイズキャンセリングマイクを搭載

MX Brio 705 for Business：主要なビデオ通話プラットフォームで認定を取得したプレミアム 4K ウェブカメラ。AIによる画像補正、デュアルノイズ低減ビームフォーミングマイク、その他の高度な機能を備え、リアルなビデオ通話を実現



Brio 505：主要なビデオ通話プラットフォームで認定を取得したフルHD 1080pウェブカメラ。ノイズ低減マイク、優れた光補正、自動フレーミング、ショーモードを搭載

Logi Dock：主要なビデオ通話プラットフォームで認定を取得した一体型のドッキングステーション。ワンタッチ会議コントロールと高度なオーディオ機能を備えた内蔵スピーカーフォン搭載

Logi Dock Flex：従業員のデスク予約体験を向上させ、複数拠点にわたる共有デスクの管理能力を高めるマネージドドッキングステーション

Logi Tune デスクトップソフトウェアアプリ：ウェブカメラ、ヘッドセット、Logi Dockの設定に簡単にアクセスして、ファームウェアの更新、バッテリーの状態、設定のカスタマイズなどを実行可能



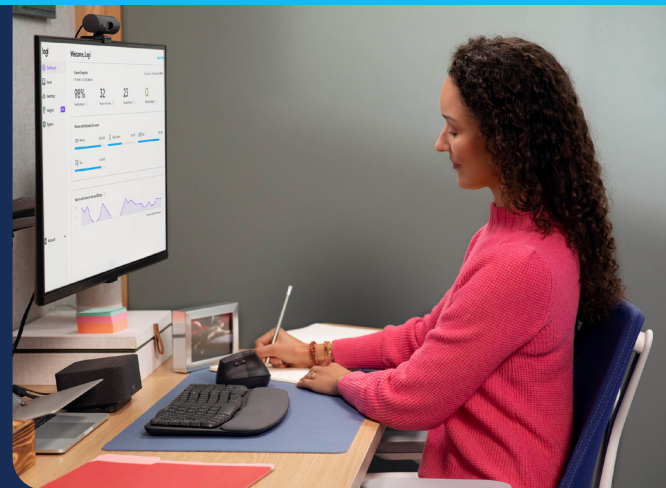


今すぐ始めるべきこと - シンプルさに焦点を当て、従業員とITエクスペリエンスを向上させる

ビデオコラボレーションは、新たな段階を迎えました。コラボレーションデバイスを評価する際には、使いやすさや管理のしやすさを考慮したシンプルさに重点を置き、ユーザーとITエクスペリエンスを大規模に向上させることが重要です。

多くの競合する企業がひしめく市場において最適なテクノロジープロバイダーとソリューションを見極めるために、顧客が優先すべきベストプラクティス：

- ▶ 個人とチームのあらゆるコラボレーションニーズを満たす、包括的なデバイスポートフォリオを備えたプロバイダーの検討
- ▶ トレーニングの必要性やITサポートへの過度の依存を減らす、使いやすいソリューションの提供
- ▶ 最先端のオーディオ・ビデオとAI駆動のテクノロジーでイノベーションをリードする技術パートナーとの協力
- ▶ Microsoft Teams、Zoom、Googleなどの主要なクラウドコラボレーションサービスの認定製品の採用による、デバイスのパフォーマンスの確保
- ▶ ROI を高め、TCO を抑える費用対効果の高いソリューションの追求
- ▶ すべてのスペースとデバイスで機能する一元管理ユーティリティの追求



66 ビジネスの劇的な変化に備えるには、従業員中心のアプローチに重点を移す必要があります。これは、人と人とのコラボレーションと従業員の幸福度を最大化するソリューションを採用することを意味します。EXファーストのアプローチは、優秀な人材を惹きつけ、定着させ、生産性を高め、結果として組織全体の持続可能な成長につながるのです。

ここをクリックして、クラス最高のロジクールのビジネス用
コラボレーションソリューションの詳細をご覧ください。➡

変革の成長へのジャーニー（旅路）はここから始まります

フロスト & サリバンの成長パイプラインエンジン、変革戦略、ベストプラクティスモデルが、
強力な成長機会の創出、評価、実装を後押しします。

あなたの会社は、来るべき変革期を生き抜き、成功を収める準備ができていますか？

ジャーニーに参加する。➡